

鹿児島県さつま町でねぶた運行

8月7日（日）、友好交流協定を結ぶ鹿児島県さつま町で「さつま町夏まつり」が開催され、同日の夕方から町の中心商店街でねぶた運行が行われました。

運行の前日、当町からはねぶたばやしの演奏と指導にあたる有志8人がさつま町に駆けつけ、さつま町のねぶた有志の皆さんへ笛、太鼓、手振り鉦の指導が行われました。

ねぶた運行では、鶴田町とさつま町のはやし方が一緒になって本場のねぶたばやしを奏で、夜の運行を盛り上げていました。



△参加したさつま町の園児たち



△はやしを指導する鶴田町の有志



△今年さつま町が自主制作したネブタ「かぐや姫」



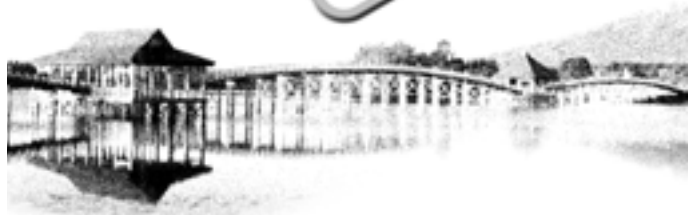
7/16 富士見小まつりで獅子舞を披露



7/12 鶴田町ライオンズクラブが各学校にカスタムシをプレゼント



7/26 野木地区の田んぼでエサを捕るコウノトリ



あなたの地区の楽しい催しや出来事などを役場総務課まちづくり班までどしどしお知らせください。(☎22-2111 内線263)

ことぶき大学始まる

7月8日（金）、今年もまた高齢者の方を対象とした「ことぶき大学」がスタートしました。開講式では実行委員（藤田澄江委員長）の皆さんが受講生に紹介され、一戸町民生活課長から「環境問題とごみ処理」について初回の講座が開かれました。

また、第2回目となる8月5日（金）には、弘前大学医学部保健学科のスタッフによる「あなたの若さと元気度チェック」（健康チェック）が行われ、さまざまなテストにより受講生個人の元気度がチェックされていました。



・健康チェックでは骨密度が測られた



左/健康チェックで行われた10m障害歩行 右/講師の一戸町民生活課長



・開講式には70人を超す受講生が参加しました

学力向上のために英語教材を寄贈

7月28日（木）、鶴田町建設協会（松山淳会長）の皆さんが町の英語教育と子どもの学力向上に役立ててもらいたいと、英語教材54点（約22万円相当）を町に寄贈しました。

町長室で行われた寄贈式には、小笠原教育長と川浪定雄英語教育推進委員長が同席し、松山淳会長、須郷守夫副会長の2人から中野町長に教材と目録が手渡されました。

贈呈式で松山会長は、「震災があり子どもたちにとっても大変な時勢ですが、町の子どもたちはこの教材を活用して、大いに学力アップをしてほしい。」と述べていました。



△中野町長に目録を渡す松山会長



△上の教材は各小学校に配分され英語の授業に活用されている

コミュニティ助成で備品購入

みどり町子ども会では、農業について子どもや保護者の方々にも学習してもらいたいという目的で、平成22年度から春には田植え、秋には稲刈り、そしてもちつき会には自ら収穫したもち米を使用した体験学習会を行っています。

このたび、財団法人自治総合センターが宝くじの販売益を活用して実施している「コミュニティ助成事業」を受け、この体験学習を地域に定着させようと、もちつきに使用する臼と杵、田植えや稲刈りの際の休憩などにも利用できるテント、それら備品を保管できる倉庫を購入しました。

今後更なる活発なコミュニティ活動が行われることを期待します。



・購入された物品 左上/テント 右上/倉庫 右下/杵と臼

安全運転を！梅沢地区で交通安全啓発

7月19日（火）、梅沢地区の交差点で、鶴田町交通安全協議会梅沢支部（小坂誠治部長）の皆さんと梅沢小学校6年生の皆さんによる夏の交通安全運動「ドライバーさんに安全運転を！」の啓発活動が行われました。

啓発では、交差点で止ったドライバーへ、児童たちが自ら書いた交通安全標語入りのポケットティッシュと交通安全のしおりが配られ、手渡す際に児童たちは「安全運転おねがいします！」元気よく呼び掛けをしていました。

これから日暮れがだんだん早くなります。ドライバーのみなさん早めにライトの点灯を！



・「安全運転お願いします！」



△交通安全の標語が入ったティッシュを配りました